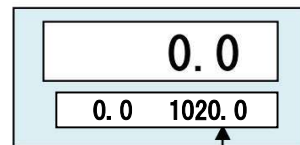


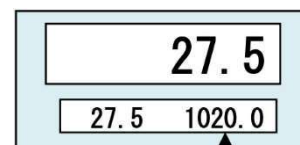
## 計量のやり方

### ■■■■■皆掛け計量の場合（バックとお米を合わせた定量値です）■■■■■

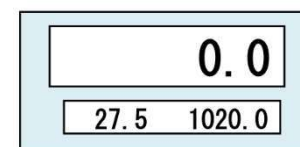
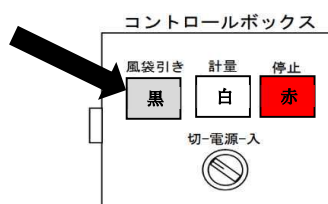
1) ハカリの上にパレットを置かずに電源を入れます。  
大きい表示が 0.0kg になっている事を確認します。



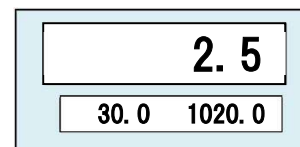
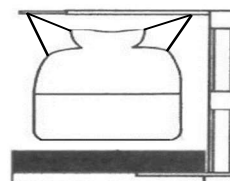
2) ハカリの上にパレットを置きます。  
例：27.5 はパレットの重さ



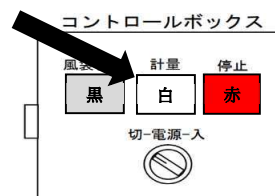
3) ボックスの風袋引きボタンを押します。  
大きい表示が 0.0kg になります。



4) 空のフレコンバックをセットします。



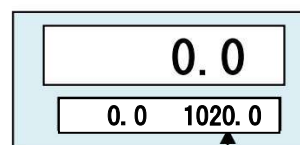
5) ボックスの計量ボタンを押して計量を行います。



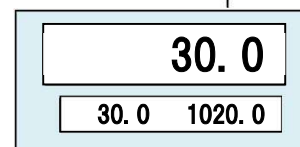
6) 定量ランプ点灯・計量ランプ消灯で計量完了です。  
バックを外して、2) より繰り返します。

### ■■■■■正味計量の場合（お米のみの定量値です）■■■■■

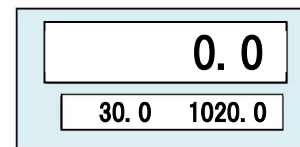
1) ハカリの上にパレットを置かずに電源を入れます。  
大きい表示が 0.0kg になっている事を確認します。



2) ハカリ上にパレットを置いて、空のフレコンバックをセットします。



3) ボックスの風袋引きボタンを押したら大きい表示が 0.0kg になります。



4) ボックスの計量ボタンを押して計量を行います。

5) 定量ランプ点灯・計量ランプ消灯で計量完了です。  
バックを外して、2) より繰り返します。

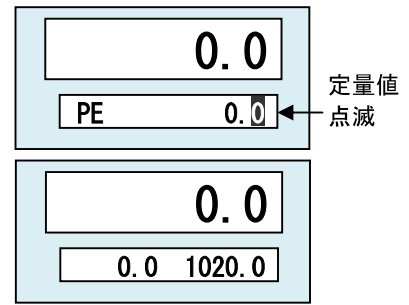
### 注意

※停止を押すと計量停止します。そのまま計量で継続できます。  
※計量中に表示 ON/OFF や電源切にすると継続できませんので、ご注意ください。

設定のやり方

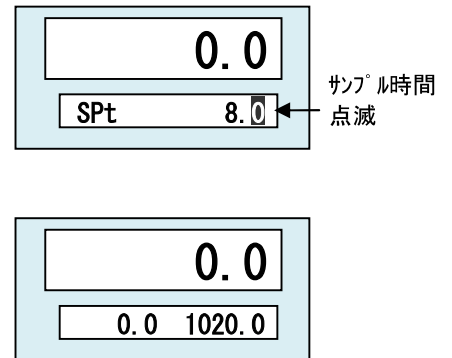
■■■ 定量値の設定 ■■■

- 1) **定量**キーを押します。
- 2) **変更**を押します。(PE と表示している間に押す)
- 3) **テンキー**で定量値を入力します。  
1020.0kg に設定する場合は、1 0 2 0 0 と押します。
- 4) **設定**を押して設定完了です。



■■■ サンプル量の設定 ■■■

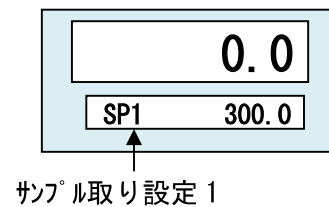
- 1) **サンプル時間**キーを押します。
- 2) **変更**を押します。(SPt と表示している間に押す)
- 3) **テンキー**でサンプル時間を入力します。  
7.5 秒に設定する場合は、7 5 と押します。
- 4) **設定**を押して設定完了です。



「サンプルゲートの開時間の設定です。」

■■■ サンプルを取るタイミングの設定 ■■■

- 1) **サンプル/第2定前**キーを押します。  
サンプル取りは、6ヶ所設定ができ、  
このキーを押す毎に切り替わります。  
SP1→SP2→SP3→SP4→SP5→SP6  
↑ ↓



- 2) 設定値を表示している時に、定量値の設定と同様に設定します。

「サンプルを取るタイミング表示」

**サンプル/第2定前**キーを押します。 → **変更** → **テンキー** → **設定**

SP1 から順に設定してください。

例) SP1=300.0kg、SP2=600.0、SP3=900.0、SP4=0.0、SP5=0.0、SP6=0.0

SP1 から順にサンプルを取得し、設定値が 0.0 になった所でサンプル取りは終了です。

「計量中に、計量値がこの設定値に達した時にサンプルゲートが開になります。」

**<注意>** 設定表示は、何もキー を押さないと約 8 秒で元の表示に戻ります。  
(設定点減中は、1 5 秒のキー未操作で元の表示に戻ります)

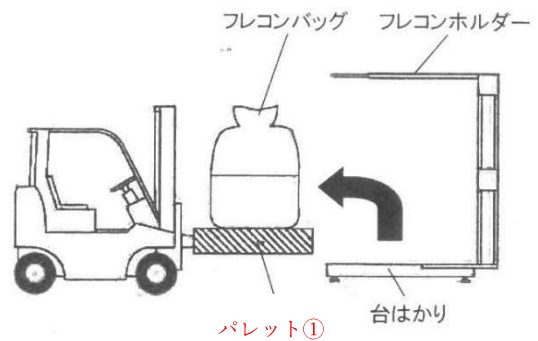
# 計量途中で穀類が終了した場合

※停電時やコンセント  
が抜けた場合も同様

- ① 台はかりからフレコンバックごと降ろしてください。



長時間台はかりに重量を掛けたままにすると  
計量誤差が起こる場合があります。



- ② 後日、作業再開時

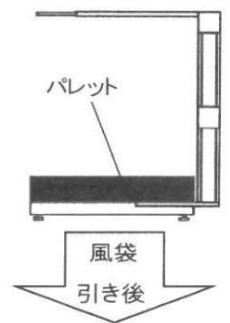
台はかりに何も載ってないことを確認後、指示計のコンセントを差し込み、  
表示部を点灯してください。

- ③ 新たにパレットを載せ、

風袋  
引き

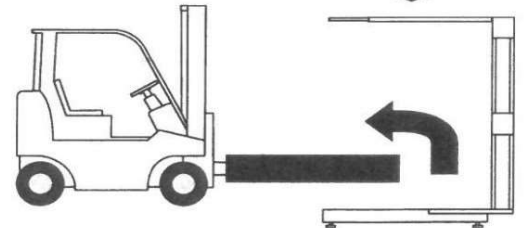
黒ボタンを1度押し、

表示を 0.0kg にしてください。

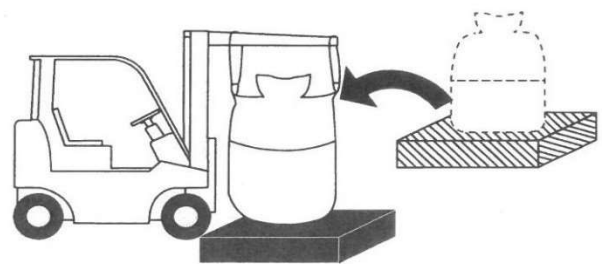


- ④ パレットを降ろしてください。

※パレットの重量分、表示部はマイナスが表示されます。

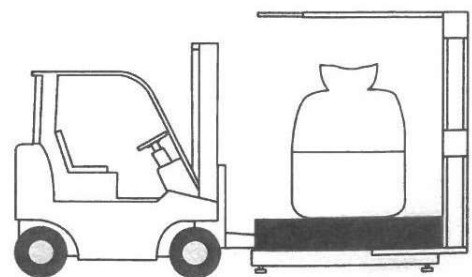


- ⑤ フレコンバックを③で風袋引きしたパレットに  
載せ替えてください。



- ⑥ パレットごとフレコンバックを台はかりに載せて、  
フレコンホルダーにセットしてください。

※ ⑤ができない場合は、使用しているパレット①の  
重量を控えておいてください。  
パレットの重量を足した定量設定にし直してください。



## < フレコンハイパーご使用前の確認カ所 >

- ① 昇降機のバケットベルト・Vベルトの張り具合  
バケットが消耗していないか点検
- ② 秤の「0kg」表示の確認  
※ 配線の接続忘れや断線していると、エラー表示します
- ③ 秤の水平の確認  
※ 秤の脚部は伸び縮みしません 薄い鉄板等を間に入れて高さ調整してください
- ④ 昇降機とタンク部の清掃、残内処理
- ⑤ 電源は単独で取る コードリール等使用しない  
※ 単独で使用しないと電圧降下により、故障の原因となります
- ⑥ 昇降機とタンク部をアジャスターで固定
- ⑦ 回転灯の動作確認  
※ 回転灯の側面のスイッチを押してみても、つかない場合は内部に入ってる電池の交換が必要です(単三電池2本)
- ⑧ ホルダー(袋立て)のバネが伸びていないか確認



※ 製品を正確に使用して頂く為にも毎年必ず行ってください

## < 動作確認のやり方 >

- ・モニターの電源をつけて、配線がしっかりされていることを確認し行ってください
- ・エアタイプのフレコンはコンプレッサーを動かし、空気圧がきていることを確認してください

1	押しながら	定量	→	回転灯が光ります
1	押しながら	落差	→	昇降機先端のシャッターが開きます
1	押しながら	サンプル時間	→	切替機が動きます
1	押しながら	サンプル/第2定前	→	サンプルシャッターが開きます
1	押しながら	計量回数	→	サンプル回転台がカップ1つ分回ります (6回この動作を繰り返し、回転台が1周分動くことを確認して下さい)

※ 異音が出た場合、すぐに動作確認をお辞め下さい 故障の原因となります  
不具合かなと思われましたら説明書記載の「トラブルシューティング」をご覧ください